

ES

志望動機

2点あります。1点目はグローバルコネクティビティです。例えば東京が真夜中の時にニューヨークが日中活動することによって会社全体としての業務が効率化されたり、ワンチームとしてボーダーレスに海外社員からの知見を得たりすることができるところが魅力的であると感じています。私は小学校・中学校を東京中華学校という中華民国系の民族学校で過ごし、台湾人・中国人・日本人・シンガポール人・マレーシア人など様々なバックグラウンドを持つ生徒と中国語・英語で共に学ぶ環境で育ちました。自身の言語能力・多文化的背景を活かせるのは貴社であると考えます。2点目は人の部分です。御社の説明会を通じて、社員の方々の、クライアント志向、専門性、多様性の尊重、そしてリーダーシップを兼ね備えています。このようなプロフェッショナルな環境の中で、私も自分の能力を最大限に伸ばし、チームの一員として価値を提供したいと考えています。

学生時代に力を入れたこと

大学2年生の夏、外務省のインターンシップに参加し、対立するメンバーの意見をまとめた経験があります。私たちのミッションはIIMSという電子情報管理システムを省内で普及させるためのポスター作りでした。

どのようなポスターにするかについて、主に2つの対立する意見がありました。一方は「直感的に理解できるシンプルなデザインにする」という意見でした。もう一方は「詳細な情報を載せたポスターにするべき」という意見です。

意見が対立する中で、私は各メンバーの意見を聞き取り、それぞれの主張のメリットとデメリットを整理しました。そして、メンバー全員が納得できるように、シンプルなデザインでありながら、QRコードやリンクを使って詳細な情報にアクセスできる形を提案しました。このように、双方の意見を取り入れたハイブリッドなポスター案を提示したことで、チームはまとまり、プロジェクトは順調に進みました。

この経験から、異なる意見がある中でも、冷静に状況を分析し、双方に配慮した解決策を見出すことが重要だと学びました。また、意見を調整することでチーム全体のモチベーションも向上し、結果的に高いクオリティの成果物を作ることができたと考えます。